

Well Well

第8号

5周年記念特集号



おかげさまで、5周年を迎えました

おかげさまで5周年を迎えることができました。私にとっては信じられないくらい早く過ぎた5年でした。苦しかった2年目を乗り越え、3周年には法人の認可を受け、サイコネフロロジー研究会を主管して、これからというときに近藤宏二という同志を失い、自慢のハイム御影を閉鎖に追い込まれ不意ながらの大改築、南透析室の誕生といささか元気をなくし、くたびれこんでいた最新の坂井瑠実でした。

この度、編集部が企画した本音アンケートを見せてもらって、もちろん耳のいたーいことも多々ありましたし、職員一同反省の材料になっていますが、誤解も多くあるように思います。一番の誤解は水。アラームが再々鳴ってご心配をおかけしましたが、すべての透析用水はRO装置とエンドトキシカットフィルターで処理をしていますので、お酒にするならともかく、井戸水が水道水より優れているというわけでもありません。いずれにしろ点滴静注しても大丈夫な水にしています。私たちが地下水にこだわったのは災害対策です。あの阪神大震災のときのようなとてもない大災害が起こっても、つぶれない建物と、水と電気を確保するというのを最大の命題にして作った施設です。どんなことが起こっても坂井瑠実クリニックにたどり着いていただければ安心という施設を目指しています。

今、5回目の誕生日を迎え、もう一度、とことん透析の質にこだわって、このクリニックの皆様がいつそう元気で、快適に透析生活を送っていただける施設になるよう、がんばる決意を新たにしているところです。阪神だって苦節18年、うれしいうれしい優勝のこの2003年、このクリニックにとっても特別な年にしたいとひそかに夢を描いています。透析が可能な老人ホーム、リクライニングシートのある透析、男女べつの透析室、穿刺室、アフター5もこなしてのオーバーナイト透析、家庭透析etcどこもやっていないユニークなやり方です。

来年の4月にはまた透析をターゲットに診療報酬が引き下げられるとの情報を得ています。どうして透析ばかりなの!?と腹立たしく思いますが、アイデアと工夫、私たちスタッフと患者の皆様方との本音の話し合いで、相互理解、信頼関係を築きながら予測される難局を打開していきたいと思っています。必要なのはスタッフと患者さんおよびご家族との信頼関係だと痛感しています。

先日ドジなことに慌てて階段から降りてくる途中、足を踏み外しそうになっただけをねじ、歩けなくなつて友愛会のバス旅行は車椅子と相成ってしまいました。押しにくくくださった皆様ありがとうございました。世の中が車椅子にとどめても不親切、バリアフリーには程遠い事がよくわかりました。この貴重な体験を生かして一層バリアフリーで、やさしい施設づくりを心がけていきたいとあらためて思いました。

今からの5年に向けて患者さんもスタッフも元気で楽しく過ごせるクリニックになることを祈っています。

坂井瑠実クリニック院長 坂井瑠実

坂井瑠実クリニック設立から5年間のあゆみ

病院／患者会（友愛会）

1998年（平成10年）

- ・坂井瑠実クリニック開院（10/10）
- ・患者会設立総会を行う（11/22）
会の名称「友愛会」に決定
- ・患者会発足（12/1）

1999年（平成11年）

- ・友愛会会報創刊（1月）
- ・入院受付開始（1/11）
- ・病院、友愛会合同焼肉パーティー（7/11）
- ・友愛会第1回クリスマスパーティー（12/12）

2000年（平成12年）

- ・「腎臓のイロハから対策まで」を発行（1月）
- ・第1回病院スタッフと患者会との懇談会（8/27）
- ・友愛会第1回定期総会、勉強会（4/23）
- ・友愛会秋の親睦行事バーベキュー（10/22）
- ・友愛会第2回クリスマスパーティー（12/17）

2001年（平成13年）

- ・第2回病院スタッフと患者会との懇談会（2/4）
- ・友愛会第2回定期総会、勉強会（4/29）
- ・フラワーアレンジメント講習を始める（5月）
- ・友愛会夏の親睦行事日帰りバスツアー（7/22）
- ・第3回病院スタッフと患者会との懇談会（8/19）
- ・友愛会、通院に関する実態調査（10/1～10/13）
- ・法人格取得（12月）
- ・坂井瑠実クリニック3周年記念パーティ（12/9）
- ・坂井瑠実クリニック機関紙「うるうる」創刊（12/9）
- ・友愛会第3回クリスマスパーティー（12/16）

2002年（平成14年）

- ・居宅介護支援事業所みのりスタート（2/1）
- ・友愛会第3回定期総会、勉強会（4/7）
- ・第13回日本サイコネフロジー研究会（6/30）
- ・友愛会夏の親睦行事日帰りバスツアー（7/14）
- ・第4回病院スタッフと患者会との懇談会（9/15）
- ・兵庫県透析施設対抗バレーボール大会出場（12/1）
- ・近藤部長天国へ旅立つ（12/7）
- ・友愛会第4回クリスマスパーティー（12/15）

2003年（平成15年）

- ・透析ツアーハワイ旅行（2/16～21）
- ・友愛会第3回定期総会、勉強会（5/11）
- ・友愛会夏の親睦行事日帰りバスツアー（9/7）
- ・ハイム御影閉鎖（5/30）
- ・南透析室オープン（7/21）



3周年記念パーティー



第4回クリスマスパーティー



日本サイコネフロジー研究会



バレーボール大会



透析ハワイ旅行
ハワイシェラトンワイキキの前で

NEWS

- ・長年難病医療にかかわって新光毅先生
勲3等瑞宝賞叙勲される（11/3）

- ・神戸市難病連送迎支援の会
「ジャスミン」発足（1月）
- ・加古川院内感染

- ・介護保険制度が実施される（4月）
- ・兵庫県腎友会がNPO法人取得（12月）

- ・アメリカテロ、N.Y.WTC崩壊（9月）
アメリカテロ報復、
アフガニスタン爆撃開始（10月）
- ・狂牛病

- ・診療報酬大幅な改正4/1

- ・神戸市難病団体連絡協議会
送迎支援の会「ジャスミン」
NPO法人取得(6月)

- ・新型ウィルスSARS(サーズ)流行(3月)
- ・イラク戦争勃発

南透析室オープン

去る7月21日より、南透析室がオープンしました。4人部屋であった病室を3室つなげて一部屋とし、15床のベッドと15台の透析機械が設置されました。中央透析室より、JMS社、フレゼニウス社の機械を移動させ、ニプロ社の新しい機械が10台入り、全ての機械で血液透析のひとつであるHDF（血液透析濾過法）ができるようになりました。また、テレビもスリムな液晶に変わり、個々の空間が違った雰囲気を感じられます。

他に中央透析室と異なる点は、火・木・土の午後透析の開始時間が“15時”と、30分遅くなっています。そして、透析時に個人的に使用する物品（手枕・布シーツ等）は、カウンターに準備しています。必要な物は、各個人でベッドサイドまで持って頂くことになっていますので、御協力をお願い致します。

スタッフは、小西秩英子副主任（技士部）と西村看護師長を責任者とし、他に技士1名、看護師3名が専属となり、不足のところは、中央透析室のスタッフが応援していく体制となっています。

ワンルームでの集団治療という環境の中で、快適で、楽しい、より良い透析治療が行えるよう、一致団結して努力していきたいと思っております。それでは、専属スタッフの心意気を聞いて下さい。

安野美穂



西村 真澄

この度、週3回ですが南透析担当の師長になりました。居宅介護支援事業所“みのり”の所長も兼任です。昭和50年から透析に携わってきましたが、1丁に弱い団塊の世代です。新しい機械に振り回され、相変わらず機械に弱い私ですが、患者さんにとってより良い看護が提供出来るように、スタッフ一丸となって頑張っていきます。どうぞよろしくお願い致します。

小西秩英子

新しい透析室に入ると、ピンク色が目に飛び込んできます。元々、部屋にピンク色のブラインドが付いていたのでそのまま使用することにし、床も同色にまとめピンクの南透析室になった次第です。部屋同様、明るい透析室にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

松川 誠

新しく南透析室が増設され、HDFが行える機械も増え今まで以上に充実した透析が行えると思っております。同時に私自身も患者さん個々に合った透析をアドバイス出来るよう頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

田原加奈子

透析室に勤務して4年が過ぎ、もう何を質問されてもわからないでは済まされません。南透析室勤務で、気分も新たに勉強を進めていきます。新しい機械に囲まれ、何をやるにも必死の私ですが、よろしくお願い致します。

三木智香子

念願の透析医療に関わり始めて、約1年が過ぎもうそろそろしっかりしないといけないなあと考えていた時に、南透析室へのお話をいただきました。実際に働きはじめて機械等が違ってとまどう反面、基本の大切さを実感しています。“いち”から勉強し直し、さらにみなさまのお役に立てるよう努力していきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願い致します。

水処理装置DC-nanoを導入

2003年7月21日南透析室が開設し、同時に水処理装置の容量不足のため新たに水処理装置DC-nanoを導入しました（この水処理装置は今話題のシステムです）。

では、DC-nanoって何nano（なの）？

過去の水処理システムにおいては硬度成分（Ca、Mg、Alなど）の除去はイオン交換によりNaと置換して除去していました。そのために大量の塩（並塩や原塩が10kg/日）が必要で置き場所にも困ったしいです。

今回導入したシステムはナノフィルターというフィルターによって硬度成分を除去する事が可能となりました。また、ROタンク内におけるRO水の停滞による汚染を防ぐために常にRO水が循環するシステムとなっているために当院のRO水のエンドトキシン値は0.6~1.6EU/L（過去3回測定）と非常に低値に保たれています。

この自慢のRO水を使用して南透析室ではオンラインHDF仕様の透析機器を15台設置し、全てがオンラインHDF仕様となりました。（透析記録は昔懐かしい手書きだけど・・・）。

また、中央透析室もこの自慢のRO水を使用し、全ての透析機器が中央監視システムと連動されています。